

川上 良

高等司法研究科・教授

【研究】

民事訴訟における裁判上の和解での「利害関係人」の法的地位、成立した和解の手続法上及び実体法上の効力とその正当化の根拠をテーマとして、実態調査(如何なる事案において利害関係人の参加が積極的に行われているか、または否定的な運用が行われているか。)と先行研究の調査中である。

【教育】

メディア授業により、院生とのコミュニケーションが一般的に取りづらい状況をフォローするため、主に1年次及び2年次に対し、電子メール、Web会議などのツールを用いてチャンネルを開放し、生活や進路などの一般相談を含めて学習教育環境の維持・向上に努めた。

【管理運営】

学習サポート委員会委員として、コロナウイルス感染症下においても、例年と同等の課外学習環境、情報提供の維持に努めた。また、実務家教員として、学外のアドバイザー弁護士との連携維持を行った。

【社会貢献】

大阪弁護士会の司法委員会及び法曹養成・法科大学院協力センターの委員として所属し、法教育の現場の実情を紹介するとともに提案活動を継続的に行った。

民間企業に対し、コンプライアンス、ハラスメント及び著作権に関する講演をそれぞれ複数回行った。

弁護士資格を有する実務家教員として、地方自治体が主催する無料法律相談の担当を16回行った。